

さとう健一郎

皆さまの声をもっと議会へ、
地域の活性をもっと議会で。



◎福岡県議会にて



◎大分県議会にて



◎大阪府議会にて

常に議会改革を!!
〔議会運営委員長として各県を訪問調査〕



◎佐賀県議会にて



◎兵庫県議会にて



◎和歌山県議会にて

自由民主党 [秋田県由利本荘市第二支部]

〒015-0404 秋田県由利本荘市矢島町七日町字熊の堂4

電話◎0184-55-3300 ファックス◎55-3040 E-mail◎ken-sato@chokai.ne.jp HP◎http://ken-sato.sakura.ne.jp/

自由民主党会派と県民をつなぐ



ご質問、ご意見をお聞かせください。
本紙が皆さまから親しんでいただけるよう編集に反映させたいと考えています。

編集◎秋田県議会自由民主党会派 政務調査会

〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号[県議会内]

TEL.018-860-2040 FAX.018-860-2102

発行◎平成23年1月1日

広報委員として約2年間、リンク5回の発行に努めてきました。会派の政務調査報告書の役目として、県政の施策や予算などについて、自民党会派および所属議員をご支持下さる方々と、目を通して下さる多くの県民の方々の視点に立ち、わかりやすさ、見やすさを重点に編集してまいりましたが、何かと未熟な部分もあり、ご迷惑をおかけした点多々あった事をお詫び申し上げますと共に、リンクご愛読ご活用下さいました皆様にも心より感謝申し上げます。ありがとうございました。 〈広報委員〉

リンク

2011.01 No.18

昨年七月に行われた参議院議員選挙においては、皆様のご支援により我が党公認候補石井ひろお氏が圧勝することが出来ました。この選挙において我が党は改選第一党になり、参議院において与党を過半数割れに追い込み、民主党の暴走に歯止めを掛けることが出来るようになりました。

それにしても民主党による政権運営は正に目を覆うばかりの惨状で、我が国の将来は、国民のくらしはどうか、暗澹たる思いを禁じ得ず、一日も早く政権交代を実現し、我が党が政権に返り咲くことこそが、この国を救う唯一の方法だと考えます。

一方県政においては、佐竹県政がスタートしてそろそろ二年になろうとしております。県政運営の指針となる「ふるさと秋田元気創造戦略」が策定され、雇用の場を増やすための産業育成、少子化対策のための結婚支援、子供を産み育てやすい環境づくり、あるいは元気で活力あふれる秋田県を目指すスポーツ振興などの政策を柱として、食品産業振興課やスポーツ振興課の新設を含め、組織の見直しや新政策が打ち出されております。

我が自民党会派としては、県議会最大会派としての責任と、議会としての役割を自覚し、知事をはじめとする執行部と緊張感を持ちながらも力を合わせ、県政発展のため全力を尽くしてまいりますので、宜しくご支援賜りますようお願い申し上げます。

謹賀新年



ごあいさつ

新年、明けましておめでとうございます。

平素は格別なるご厚誼を賜りまして、篤く感謝と、御礼を申し上げます。

昨年は、長引く不況と政治の不安定さにより、心の動揺が大きな年でしたが、秋田県政に於いては関係各位が力を合わせてより良いふるさとづくりに懸命の努力をしております。

特に、未来を担う秋田県の子ども達が、

学力と、心身共に健やかな成長を遂げている事は、何よりの明るい希望です。

今年は私も県政に参画させて頂いてから5期20年の任期満了を迎えます。

これまでの経験を活かしながらか引き続きより良いふるさとづくりに努力したいものと、新春に当たり心を新たにしております。

皆さまには、倍旧のご指導とご鞭撻の程をお願い申し上げます。



秋田県議会議員
佐藤 健一郎

ふるさと秋田を更に元気にする12月補正予算の主なもの

今回の補正予算は、「農林漁業振興臨時対策基金」の創設など、「ふるさと秋田元気創造プラン」を推進する事業のほか、秋田県のイメージアップを図るための事業、及び経済・雇用対策としての公共事業、資金対策などが盛り込まれました。

新たな戦略産業の創出 39億円

- 農林漁業の構造的改革を進めるための基金の造成
- 「アイリス2」のロケーション・ハンティングの誘致



脱少子化秋田 24,585千円

- あきた結婚支援センターを3ヶ所に設置
 県北：旧正札竹村(大館市)
 中央：フォーラムアキタ(秋田市)
 県南：南部男女共同参画センター(横手市)



秋田県イメージアップ戦略の推進 32,330千円

- アドバイザー委嘱
 ・高知県在住グラフィックデザイナー「梅原真氏」
 ・秋田県出身タレント「加藤夏希さん」「佐々木希さん」
- 海外向けの秋田伝統工芸贈呈品の製品
- 映像ライブラリー構築事業

スポーツ・教育・文化でつくる元気な秋田 54,408千円

- 甲子園で勝ち抜くための総合的戦略策定
- 全国大会で活躍する高校生への奨学金給付
- 角館南高校体育館改築
- スポーツ活用地域の賑わい創出

「経済・雇用」「公共事業」対策 114億8600万円

- 経営安定資金の融資枠拡大
- 新たな135名の雇用創出
- 消費下支えの為、公共事業の前倒し・早期発注
(林野、土地改良、道路、河川、砂防、港湾等の事業)
- 県有施設の耐震化の推進

「安心医療秋田」「協働社会秋田」 10億6500万円

- ドクターヘリポート整備支援
- 子宮頸がん予防接種対策基金積立
- 子宮頸がん予防接種促進・普及啓発



※金額は債務負担を含む

11月に開催された 決算特別委員会から

自民党派委員長

委員長：大関衛
 委員：大里祐一、柴田正敏、小松隆明、佐藤賢一郎、工藤嘉範、中泉松司、竹下博英、北林文正

決算特別委員会(委員15名)および12月定例会において21年度秋田県歳入歳出決算が賛成多数をもって認定されました。認定に際し、特別委員から付された意見の主なるものは

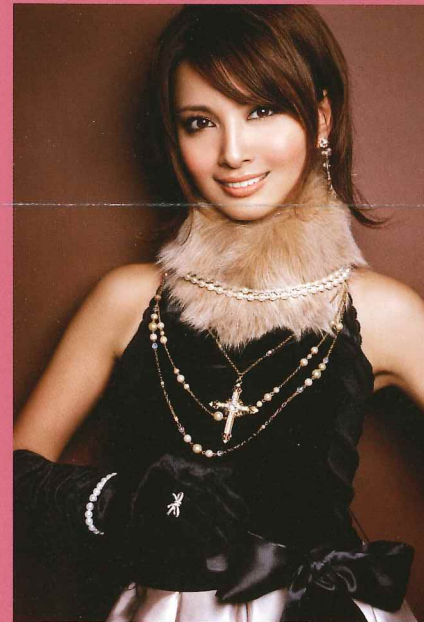
- 決算審議にあたり、事業の成果とそれに伴う数字の応答が不十分であることは、当局の姿勢に一因があると考えられるため、次年度に向けて反省する点がある。
- 「指定管理者制度」が、制度採用の是非から再検討が必要と包括外部監査報告でも指摘されているが、サービス水準の維持が指定管理者の努力に頼っている現状や、非正規雇用を生み出している事を見逃すわけには行かず、「県の役割の再構築と県民との協働の促進」の面からも課題を更に掘り下げた対応に進む事を期待する。
- 部局横断的に実施されている事業については、担当から県全体事業へと進化する上で、適切な事業・予算とする整理統合など再点検の必要性がある。

“時代は「秋田」から!”

本県ゆかりの知名度の高い方に元気を与えて頂き、秋田を応援してもらう事業です。今年5月11日には、東京アンテナショップ「美彩館」で藤あや子さんには委嘱状を交付しており、今回新たに「あきた美の国大使」としてお二人に県のイメージアップに貢献して頂くものです。

あきた美の国大使

「秋田県イメージアップ戦略」の応援大使について、本県出身で現在モデルや女優として活躍し、若者を中心として幅広い支持を受けている加藤夏希さんと佐々木希さんを「あきた美の国大使」に委嘱する。



加藤 夏希(かとうなつき)さん

1985年由利本荘市出身。中学まで秋田県で過ごし、ゲーム会社のイメージガールがきっかけでデビュー。以降、ドラマ、CM、映画、バラエティと幅広く活躍している。



佐々木 希(ささきのぞみ)さん

1988年秋田市出身。秋田でショップ店員だったところをスカウトされ、若者向け雑誌のオーディションで初代グランプリを獲得以降、雑誌、ドラマ、映画、バラエティなどで幅広く活躍している。

食彩あきた応援大使

本県出身者で演歌歌手を始め多方面でご活躍されている藤あや子さんを「食彩あきた応援大使」に委嘱しました。



藤 あや子(ふじあやこ)さん

仙北市出身。民謡歌手としてステージ活動を続け、1985年にNHK「勝ち抜き歌謡天国」決勝大会で優勝。1989年にメジャーデビュー。以来、名曲を数多く発表している。

日沿道 「ニツ井白神～あきた北空港」 間の計画段階評価について

高速道路ネットワークは、企業立地や観光振興、広域防災などの地域の自立や発展に必要な不可欠である。「ニツ井白神～あきた北空港17km」が不連続であり、県境では「遊佐～象潟間16km」と「新庄～雄勝こまち間13km」が事業未着手区間である。

日本海沿岸東北自動車道で県北唯一の未着工区間である「ニツ井白神～あきた北空港17km」について国土交通省東北地方整備局は年内にも、国土交通省が県及び国の社会資本整備審議会の意見聴取を行う「計画段階評価」の対象に、有職者らをメンバーにした小委員会を設け、整備手法の検討を始める。小委員会では既存道の改良を含めた複数の案について、ルートやコストを比較評価する見通しである。

